部 活 動 規 定

前橋市立南橋中学校

第1章 目 的

第1条 部活動は本校の教育活動のひとつとして、生徒が互いに協力しながら自主的・自発的に活動し、自己の持っている能力・特性を十分に伸ばすことを目的とする。

第2章 入部・退部

第2条 入部は、生徒が自らの趣味や興味・関心などをもとに、希望する部の活動内容・必要経費などを十分に調べてから入部する。

第3条 退部は、活動が困難な生徒が保護者、担任、顧問と十分相談の上、退部する。

第4条 部の入部・退部に当たっては、所定の用紙に必要事項を記入し、担任を通し、顧問に届け出る。なお2・3年生についても年度初めに入部届を提出する。

第5条 1年生には、4月当初、部活動見学・仮入部期間を設ける。各部は、期間中、1年生を拘束してはならない。なお、部活動見学は17:15完全下校、仮入部は17:30完全下校とし、原則、休みの日の練習には参加できない。

1年生の市春季大会の参加は、認めない。ただし、2、3年生の部員数が足りない場合や1年生種目がある大会は職員の了解を経て参加を認める。

第3章 部活動の種類

第6条 部には運動部と文化部をおく。

【運動部】軟式野球（男女） バasketボール（男女） バレーボール（女）新体操（女） ソフトテニス（男女） 卓球（男女） 陸上競技（男女） 柔道（男女） 剣道（男女） 駅伝（活動期間が限定される）

【文化部】吹奏楽 美術

【その他】スキー スケート 硬式テニス 水泳

※上記以外で大会に参加する場合は担任に申し出ること

第4章 部の結成

第7条 部を結成するときは、その目的を達成するために個人種目の競技は8名以上、団体競技はエントリー数以上の同行者が集まり、部活動主任と生徒会本部に申し入れ、職員会議・生徒総会で承認を得られた後、同好会として活動する。その後1～2年の活動状況により部に昇格できる。

第5章 休部

第8条 部が活動困難な場合や活動していない状況が続いたときは、職員会議・部長会議・生徒総会の決定を経て休部とする。

2 休部となっている部は、次の手続きをとった上で復帰できる。

①個人種目の競技は8名以上、団体競技はエントリー数以上

- の同好者が集まることを原則とする。
- ②同好者が部活動主任に復帰の希望を伝える。
- ③部活動主任は、職員会議で復帰の希望を伝え、顧問を決定する。
- ④条件が整った時点で、協議会にかける。
(協議会メンバーは、本部役員、各専門委員会委員長、部活動部長、各学年代表、学級委員長)
- ⑤生徒総会にかける。
- ⑥生徒総会で承認された後、職員会議で最終的に承認を得る。

第6章 廃部

第9条 廃部は、休部期間が3年間を経過した場合に職員会議を経て廃部とする。

第7章 部の構成

第10条 部の構成は次の通りとする（同好会を含む）。
顧問・部長・副部長・部員

第8章 部役員の任務

第11条 部長は部の活動（研究・練習）・部会予定を顧問に承認を得て計画し、部会の議長となる。また、部長会議にも出席する。
2 副部長は部長を補佐し、部長不在の場合はその代理を務める

第9章 部長会議

第12条 部長は、生徒会本部・部活動主任が招集する部長会議には必ず出席しなければならない。

第10章 活動日・活動内容

第13条 活動日は火曜日から金曜日までとし、月曜日は休養日とする。土曜日、日曜日については、顧問が指導するときに限り活動することができる。なお、どちらか一日を休養日に当てることとする。大会等でやむを得なく活動する場合は必ず平日に代休日

第14条 定期テスト前の活動中止
ア、中間テストは3日前からとする。
イ、期末テストは7日前からとする
(1学期の期末テストのみ3日前からとする)
ただし、ア、イとも大会などの出場により考慮することもある。

第15条 活動時間

期間	<u>完全下校</u>
4、10月	18:00
5～9月	18:30
11～3月	17:30

- ・平日の部活動は、活動時間が2時間程度になるようにする。
- ・土曜日、日曜日、祝祭日の活動時間は1日3時間程度とする。
- ア、日没時間が早くなる冬季については、活動時間を短縮することがある。
- イ、夏季、冬季、春季休業日の活動については、原則平日のみの活動とし、休日が大会等で活動日だった場合には平日に代休日を設ける。また活動時間は3時間程度とする。
- ・朝練習は原則として実施しないこととする。ただし、日没の関係で放課後の練習が十分に確保できない場合、体育館部活で放課後に体育館が使用できない練習日において、保護者の理解が得られた場合には、顧問の指導のもと希望者のみの参加で、30分程度の朝練習を実施できるものとする。その時間は1日の活動時間に含めるものとする。
- ・駅伝部の活動については、朝練習を実施できるものとする。授業日は30分程度、休業日は1時間程度とする。

第11章 部室の使用

- 第16条 部室は決められた時間内に使用でき、使用した後は整理整頓に心がけ、戸締まりを必ずする。
- 第17条 部室には必要な用具のみを置き、貴重品は一切置かない。また、他の部室に入らないようにする。
- 第18条 部室での飲食は絶対にしない。

第12章 部活停止

- 第19条 部活動の目的に著しく反した場合、部活を停止する。停止期間は顧問・部活動主任・職員会議で決定し、その期間は活動を停止する。
(例 学校に必要なのない物を持ってきた場合など)

第13章 その他

- 第20条 朝及び放課後の練習着は部活動内で指定されたものとし、Tシャツは学校・部活指定のものか中体連関係のもの。また靴下は学校指定と同色及びワンポイントのものとする。

附則

この規定は、平成16年4月19日から施行する。

令和2年4月1日一部改訂。(第15条活動時間)
 令和5年4月1日一部改訂。(第6条部活動の種類)
 令和6年10月16日一部改訂(第6条部活動の種類)